

# 岐阜県における水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

平成18年9月

木曾川・飛騨川圏域総合流域防災協議会  
長良川圏域総合流域防災協議会  
揖斐川圏域総合流域防災協議会  
庄内川・矢作川圏域総合流域防災協議会  
宮川・庄川圏域総合流域防災協議会

# 目 次

1. 総合流域防災協議会	
(1)目的	1
(2)圏域区分図	
2. 岐阜県 水害・土砂災害発生状況図………図面1	2
3. 岐阜県 河川整備状況図 …… 図面2	3
土砂災害対策の現状 …… 図面3	4
4. 当該年度事業実施箇所(一覧表・図)	
※H18事業実施箇所位置図………図面4	5
5. 水害・土砂災害対策の現状の課題と当面の進め方	
(1)岐阜県の自然、社会特性と災害状況	10
(2)水害・土砂災害対策の現状の課題	11
(3)ハード対策の当面の進め方	
1)木曾川・飛騨川圏域	12
-1. 河川水害対策	
-2. 土砂災害対策	
2)長良川圏域	13
-1. 河川水害対策	
-2. 土砂災害対策	
3)揖斐川圏域	15
-1. 河川水害対策	
-2. 土砂災害対策	
4)庄内川・矢作川圏域	17
-1. 河川水害対策	
-2. 土砂災害対策	
5)宮川・庄川圏域	18
-1. 河川水害対策	
-2. 土砂災害対策	
(4)ソフト対策の当面の進め方	19

# 1. 総合流域防災協議会

## (1) 目的

豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるにあたり、国土交通省と岐阜県は、水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、双方の施行事業の進め方について調整し、効果的・効率的に安全度の向上を図っていくために、岐阜県を5つの圏域に分けて、圏域毎に総合流域防災協議会を平成17年度に設立しました。

## (2) 圏域区分図



# 2. 岐阜県 水害・土砂災害発生状況図

この図は至近10年に発生した主な災害を表示しています。中でも、平成14年の「台風6号災害」では揖斐川流域で床上浸水442戸、床下浸水511戸、平成16年の「台風23号災害」では長良川流域で床上浸水562戸、床下浸水490戸、宮川流域で床上浸水644戸、床下浸水719戸という大きな被害が発生しています。

また、土砂災害では平成11年の「9.15災害」、平成12年の「恵南豪雨災害」、平成16年の「台風23号災害」など、人的被害を伴った土石流災害が発生したほか、毎年のように土砂災害が発生しています。平成18年5月には、揖斐川町において大規模な地すべり災害が発生し、揖斐川の河道閉塞による氾濫被害が懸念され全国の関心を集めました。

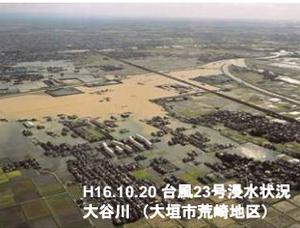
凡例	
●	至近年に発生した 水害
▲	至近年に発生した 土石流
◆	至近年に発生した 地すべり
■	至近年に発生した 崖崩れ
★ ☆	過去に大きな被害が発生した災害
—	圏域境界

至近10年(H7~H16)の圏域別災害発生状況

	水害(戸)		土砂災害(箇所)		
	床上	床下	土石流	地すべり	急傾斜
岐阜県全体	2,619	5,172	89	—	15
木曽・飛騨川圏域	90	446	18	—	3
長良川圏域	910	1,674	10	—	5
揖斐川圏域	508	1,560	5	—	1
庄内・矢作川圏域	231	231	15	—	2
宮川・庄川圏域	880	1,261	41	—	4



H16. 10. 20 台風23号  
死者6名・行方不明2名  
床上浸水1,392戸・床下浸水2,482戸  
(県内合計数)



H14. 7. 10 台風6号  
死者1名  
床上浸水466戸・床下浸水631戸  
(県内合計数)



# 3. 岐阜県 河川整備状況図

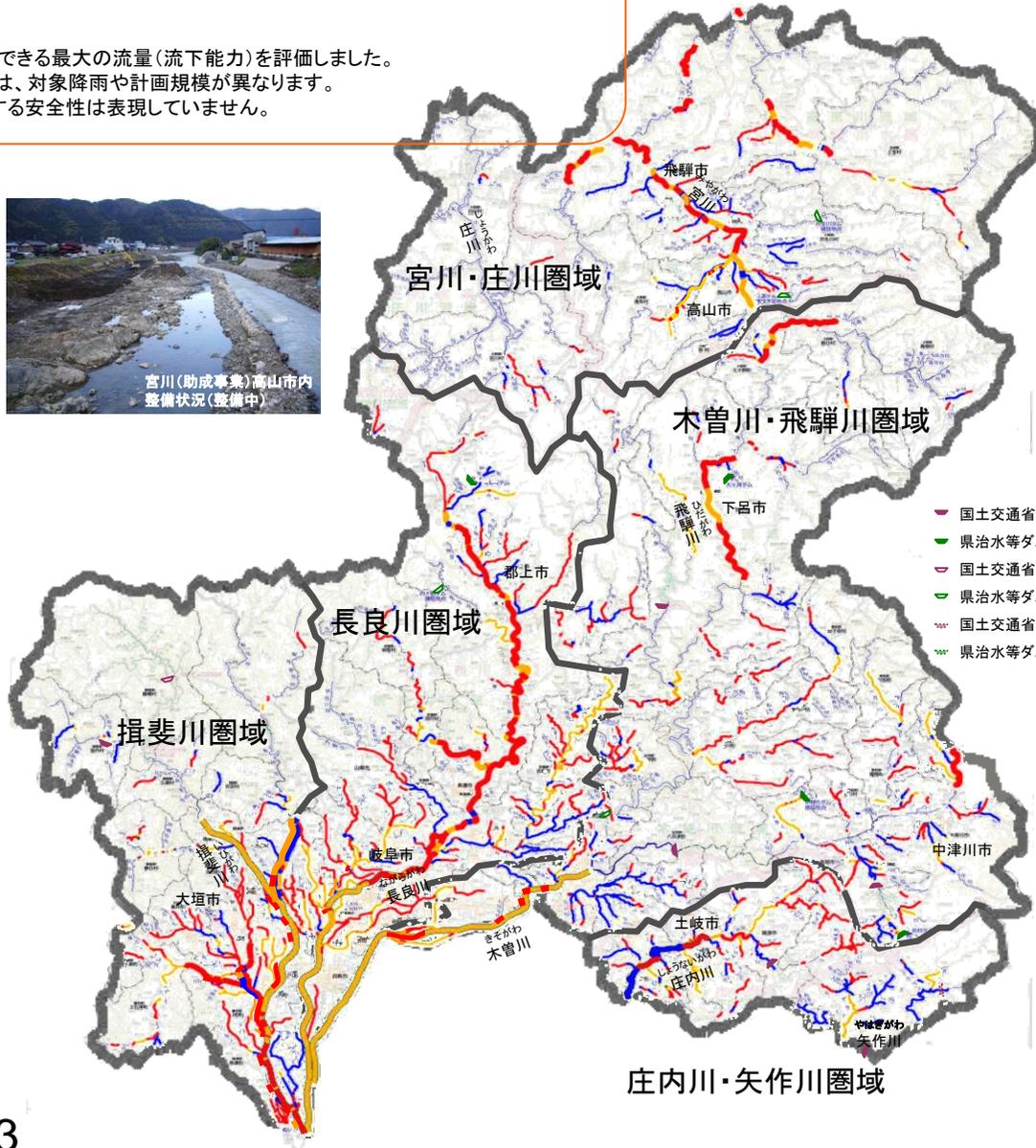
この河川整備状況図は、洪水が発生した時、相当程度の被害発生リスクを知っていただくために、一定の改修が必要な区間を評価しました。リスク評価は、主に以下の3点に基づいています。

1. 現況で、洪水を安全に流すことができる最大の流量(流下能力)を評価しました。
2. 国管理の河川と県管理の河川では、対象降雨や計画規模が異なります。
3. 洪水による洗掘や地震などに対する安全性は表現していません。

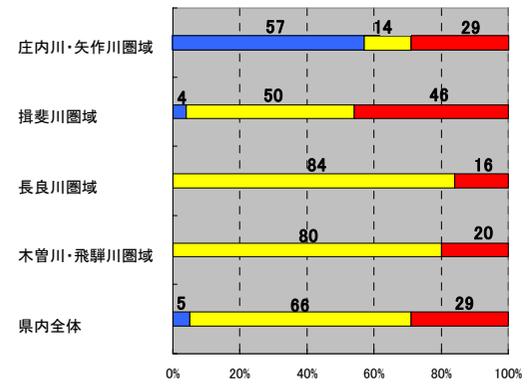
表示方法	整備の目標
	計画規模 <sup>1)</sup> の流量を満足する区間
	当面の計画規模 <sup>2)</sup> の流量を満足する区間
	当面の計画規模 <sup>2)</sup> の流量に満たない区間

流域面積	表示方法	整備の目標
概ね200km <sup>2</sup> 以上		計画規模 <sup>3)</sup> の流量を満足する区間
		当面の計画規模 <sup>4)</sup> の流量を満足する区間
		当面の計画規模 <sup>4)</sup> の流量に満たない区間
概ね200km <sup>2</sup> 未満		計画規模 <sup>5)</sup> の流量を満足する区間
		当面の計画規模 <sup>6)</sup> の流量を満足する区間
		当面の計画規模 <sup>6)</sup> の流量に満たない区間

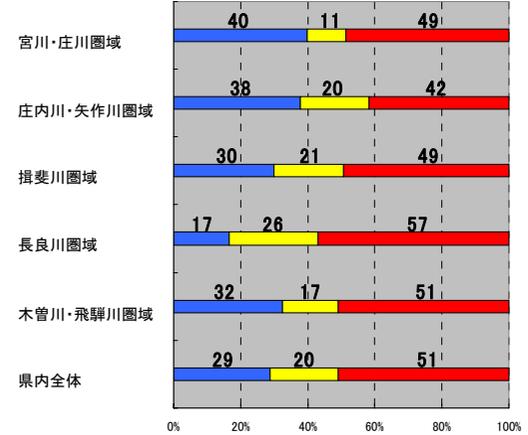
注)  
 \*1: 木曾川: 2日雨量275mm(年超過確率1/100程度)  
 長良川: 突峰流量(年超過確率1/35程度)  
 揖斐川: 2日雨量95mm(年超過確率1/100程度)  
 庄内川(土岐川): 24時間雨量305mm(年超過確率1/100程度)  
 \*2: 木曾川: 2日雨量236mm(年超過確率1/30程度)  
 長良川: 流量確率(年超過確率1/30程度)  
 揖斐川: 2日雨量329mm(年超過確率1/30程度)  
 庄内川(土岐川): H元年9月洪水(観測史上最大流量)  
 \*3: 日雨量260mm相当(年超過確率1/50程度)  
 \*4: 日雨量240mm相当(年超過確率1/30程度)  
 \*5: 時間雨量65mm相当(年超過確率1/30程度)  
 \*6: 時間雨量50mm相当(年超過確率1/5~1/10程度)



<国管理河川整備状況>



<県管理河川整備状況>



# 3. 岐阜県 土砂災害対策の現状

直轄区域における大規模崩壊と活火山

図面3



H17秋より活発化し噴煙を上げる“活火山 焼岳”



根尾白谷の大崩壊地(本巣市)

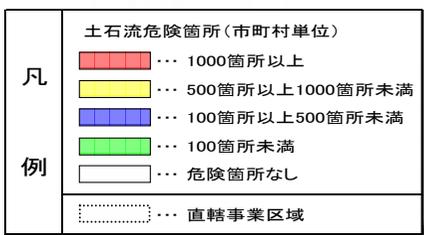


落合川上流域の荒蕪地(中津川市)

- ・土石流や崖崩れなどの土砂災害に対しては、砂防堰堤や崖崩れ対策等のハード対策を実施するだけでなく、大雨の時や土砂崩れ等の前兆現象が見受けられた時には、速やかに避難することが最も重要です。
- ・このため、県内の各市町村毎に土砂災害危険箇所図を作成し、危険区域内の全戸に配布したほか、県のホームページへの掲載や各土木事務所及びあなたのお住まいの市町村役所で閲覧することができます。
- ・また、平成13年には、ソフト対策を推進する「土砂災害防止法」が施行され、この法律に基づく土砂災害警戒区域等の指定に向けた基礎調査を行っています。
- ・ちなみに、土砂災害危険箇所13,083箇所に対し、1,857箇所(平成17年度末)で調査を完了し、順次土砂災害警戒区域等の指定を進めます。



防災センターCCTVタッチパネル



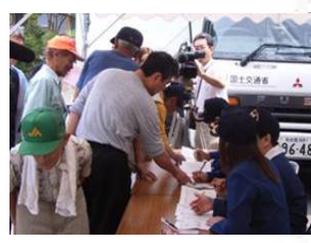
土石流監視システム(市町村へ提供)



CCTVカメラによる防災情報の共有化(高山市役所内への配信状況)



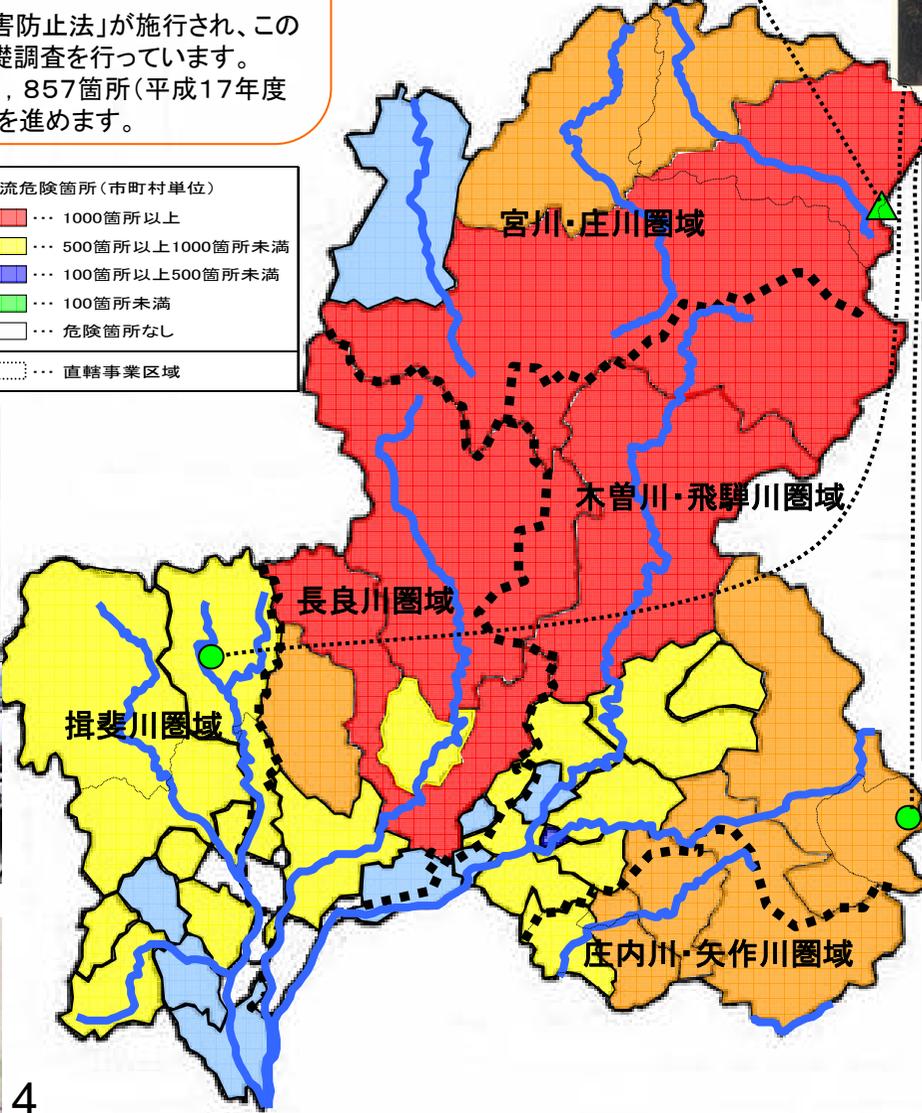
管内市町の出先機関に提供



岐阜県土砂災害警戒情報

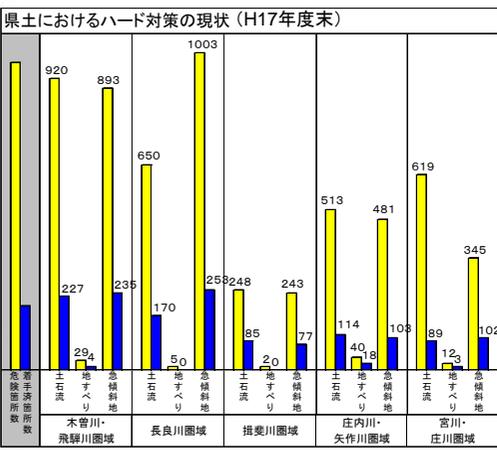


岐阜県土砂災害危険区域図



全国の土砂災害危険箇所数と岐阜県の箇所数及び順位	全国	岐阜県	順位
土石流危険渓流	183,863	5,537	12位
地すべり危険箇所	11,288	88	36位
急傾斜地崩壊危険箇所	330,156	7,458	20位

※全国の箇所数はH14年公表、岐阜県はH14年公表値に旧山口村を考慮。



県土におけるソフト対策の現状 (H17年度末)	実施済み	未実施
木曾川・飛騨川圏域	マップ配布率 100%	基礎調査実施率 80.3%
長良川圏域	マップ配布率 100%	基礎調査実施率 93.7%
揖斐川圏域	マップ配布率 100%	基礎調査実施率 90.7%
庄内川・矢作川圏域	マップ配布率 100%	基礎調査実施率 71.2%
宮川・庄川圏域	マップ配布率 100%	基礎調査実施率 79.1%

# 4. 岐阜県 H18年度事業実施箇所位置図

H18年度事業実施箇所は、水害・土砂災害の発生状況や河川・砂防の整備状況を踏まえ、次頁のH18年度事業実施箇所一覧表に示すハード・ソフト対策を予定しています。本位置図は、これらの大まかな位置を示しています。



凡例		
直轄(国)	補助(県)	事業名
		河川事業
		ダム事業
		砂防事業
		地すべり事業
		急傾斜事業

# 4. 岐阜県 H18年度事業実施箇所一覧表①

## 河川事業(国)

No.	事業名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	主な工種	圏域名
1	直轄河川改修事業	岐阜市	木曽川水系	長良川	東島	河道掘削	長良川圏域
2	特定構造物改築事業	瑞穂市 大垣市 安八町	木曽川水系	犀川	瑞穂市	排水機場	長良川圏域
3	直轄総合水環境整備事業	瑞穂市 大垣市	木曽川水系	犀川	瑞穂市	護岸工	長良川圏域
4	直轄河川改修事業	安八町	木曽川水系	揖斐川	牧	河道掘削	揖斐川圏域
5	直轄河川改修事業	大垣市	木曽川水系	揖斐川	古宮	河道掘削	揖斐川圏域
6	直轄河川改修事業	大垣市	木曽川水系	揖斐川	馬瀬	防災ステーション	揖斐川圏域
7	直轄河川改修事業	海津市	木曽川水系	揖斐川	江内	排水機場撤去	揖斐川圏域
8	直轄河川改修事業	大垣市	木曽川水系	牧田川	浅西	護岸工	揖斐川圏域
9	直轄河川改修事業	養老町	木曽川水系	牧田川	船付	護岸工	揖斐川圏域
10	直轄河川改修事業	大垣市	木曽川水系	杭瀬川	野口	築堤護岸工	揖斐川圏域

## 河川事業(県・市)

No.	事業名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	主な工種	圏域名
1	広域基幹河川改修事業	可児市	木曽川水系	可児川	可児川	用地買収	木曽川・飛騨川圏域
2	鉄道橋緊急対策事業	中津川市	木曽川水系	坂本川	坂本川	ボックスカルバート	木曽川・飛騨川圏域
3	総合流域防災事業(広一)	中津川市	木曽川水系	坂本川	坂本川	ボックスカルバート	木曽川・飛騨川圏域
4	床上浸水対策特別緊急事業	郡上市	木曽川水系	曾部地川	曾部地川	用地買収	長良川圏域
5	広域基幹河川改修事業(緊特)	山県市	木曽川水系	長良川	武儀川	護岸工	長良川圏域
6	都市基盤河川改修事業	関市	木曽川水系	関川	関川	用地買収	長良川圏域
7	床上浸水対策特別緊急事業	岐阜市・関市	木曽川水系	長良川	長良川	河道掘削工	長良川圏域
8	総合流域防災事業(統合準用)	関市	木曽川水系	桐谷川	桐谷川	護岸工	長良川圏域
9	都市基幹河川改修事業	山県市	木曽川水系	鳥羽川	鳥羽川	橋梁工・護岸工	長良川圏域
10	総合流域防災事業(統合準用)	岐阜市	木曽川水系	戸石川	戸石川	護岸工	長良川圏域
11	総合流域防災事業(統合準用)	岐阜市	木曽川水系	村山川	村山川	橋梁工	長良川圏域
12	都市基盤河川改修事業	岐阜市	木曽川水系	正木川	正木川	護岸工	長良川圏域
13	総合治水対策特定河川事業	岐阜市	木曽川水系	境川	境川	上戸排水機場	長良川圏域
14	総合流域防災事業(流域貯留)	岐阜市	木曽川水系	境川	境川	貯留施設工	長良川圏域
15	都市基盤河川改修事業	岐阜市	木曽川水系	新荒田川	新荒田川	護岸工	長良川圏域
16	広域基幹河川改修事業	瑞穂市	木曽川水系	犀川	犀川	用地補償	長良川圏域
17	広域基幹河川改修事業	瑞穂市	木曽川水系	新堀川	新堀川	用地買収・護岸工	長良川圏域
18	総合流域防災事業(広一)	揖斐川町	木曽川水系	管瀬川	管瀬川	橋梁下部工	揖斐川圏域
19	床上浸水対策特別緊急事業	大垣市・養老町・垂井町	木曽川水系	大谷川	大谷川	築堤工	揖斐川圏域
20	総合流域防災事業(堤防質的)	大垣市	木曽川水系	中之江川	中之江川	堤防補強工	揖斐川圏域
21	総合流域防災事業(統合準用)	大垣市	木曽川水系	江西川	江西川	護岸工	揖斐川圏域
22	総合流域防災事業(広基)	海津市・養老町	木曽川水系	津屋川	津屋川	築堤工	揖斐川圏域
23	総合流域防災事業(広基)	土岐市	庄内川水系	肥田川	肥田川	用地補償	庄内川・矢作川圏域
24	総合流域防災事業(広基)	高山市	神通川水系	苔川	苔川	用地買収	宮川・庄川圏域
25	災害復旧助成事業	高山市・飛騨市	神通川水系	宮川・瓜栗川・川上川 ・牧谷川・大橋谷川	宮川・瓜栗川・川上川 ・牧谷川・大橋谷川	護岸工	宮川・庄川圏域
	総合流域防災事業(情報)	岐阜市・山県市・関市・ 郡上市・高山市	—	—	—	CCTVカメラ設置	長良川圏域・宮川庄川圏域
	総合流域防災事業(ソフト)	岐阜市・山県市・富加町・ 揖斐川町・飛騨市	—	—	—	ハザードマップ作成	長良川圏域・揖斐川圏域・宮川庄川圏域

# 4. 岐阜県 H18年度事業実施箇所一覧表②

## ダム事業(国・水資源機構)

1	多目的ダム建設事業	恵那市	矢作川水系	上村川	上矢作ダム	実施計画調査(ボーリング調査、弾性波探査)	庄内川・矢作川圏域
2	直轄堰堤改良事業	豊田市	矢作川水系	矢作川	矢作ダム	堆積土砂掘削等	庄内川・矢作川圏域
3	河川総合開発事業	揖斐川町	木曾川水系	揖斐川	横山ダム	貯砂堰、土砂処分場整備等	揖斐川圏域
4	多目的ダム建設事業	八百津町	木曾川水系	木曾川	新丸山ダム	付替道路整備、用地取得等	木曾川・飛騨川圏域
5	水資源機構事業	揖斐川町	木曾川水系	揖斐川	徳山ダム	ダム本体工	揖斐川圏域

## ダム事業(県)

1	河川総合開発事業	川辺町	木曾川水系	水無瀬川	水無瀬ダム	調査(水文調査等)	木曾川・飛騨川圏域
2	治水ダム建設事業	郡上市	木曾川水系	亀尾島川	内ヶ谷ダム	付替道路工	長良川圏域
3	河川総合開発事業	高山市	神通川水系	荒城川	丹生川ダム	ダム本体工	宮川・庄川圏域
4	河川総合開発事業	高山市	神通川水系	大八賀川	大島ダム	調査(環境調査等)	宮川・庄川圏域

## 砂防事業(国)

No.	事業名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	主な工種	圏域名
1	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	蒲田川	小鍋谷第8号上流砂防堰堤群	砂防堰堤	宮川・庄川圏域
2	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	蒲田川	尻高谷砂防堰堤群	砂防堰堤	宮川・庄川圏域
3	直轄砂防事業	飛騨市	神通川水系	跡津川	跡津川下流床固群	床固工	宮川・庄川圏域
4	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	蒲田川	新穂高溪流保全工	砂防堰堤	宮川・庄川圏域
5	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	平湯川	平湯川砂防樹林帯	流路	宮川・庄川圏域
6	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	平湯川	岩坪谷第4号砂防堰堤	砂防堰堤	宮川・庄川圏域
7	直轄砂防事業	高山市	神通川水系	平湯川	白谷砂防堰堤群	砂防堰堤	宮川・庄川圏域
8	直轄砂防事業	中津川市	木曾川水系	温川	温川第5砂防堰堤	砂防堰堤	木曾川・飛騨川圏域
9	直轄砂防事業	中津川市	木曾川水系	熊洞	熊洞第1砂防堰堤	砂防堰堤	木曾川・飛騨川圏域
10	直轄砂防事業	中津川市	木曾川水系	落合本谷	本谷砂防堰堤工群	砂防堰堤	木曾川・飛騨川圏域
11	直轄砂防事業	中津川市	木曾川水系	中津川	中津川第10砂防堰堤	砂防堰堤	木曾川・飛騨川圏域
12	直轄砂防事業	中津川市	木曾川水系	橋ヶ谷	橋ヶ谷第2砂防堰堤	砂防堰堤	木曾川・飛騨川圏域
13	直轄砂防事業	土岐市	庄内川水系	鍛冶ヶ入川	鍛冶ヶ入第5砂防堰堤	砂防堰堤	庄内川・矢作川圏域
14	直轄砂防事業	多治見市	庄内川水系	笠原川	笠原川床固工群	床固工群	庄内川・矢作川圏域
15	直轄砂防事業	多治見市	庄内川水系	生田川	生田川遊砂工	床固工群	庄内川・矢作川圏域
16	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	坂内川	川上地区砂防堰堤群	砂防堰堤	揖斐川圏域
17	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	揖斐川	西津汲谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
18	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	日坂川	貝月谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
19	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	坂内川	山の谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
20	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	坂内川	広瀬殿又谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
21	直轄砂防事業	揖斐川町	揖斐川水系	揖斐川	高谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
22	直轄砂防事業	本巣市	揖斐川水系	根尾川	門脇谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
23	直轄砂防事業	本巣市	揖斐川水系	根尾川	神戸谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域
24	直轄砂防事業	本巣市	揖斐川水系	根尾川	エ/マ谷第1砂防堰堤	砂防堰堤	揖斐川圏域

# 4. 岐阜県 H18年度事業実施箇所一覧表③

## 砂防事業(県)

No.	事業名	市町村名	水系名	流域名	箇所名	主な工種	圏域名
1	通常砂防事業	岐阜市	木曾川	岐阜市流域	滝ヶ洞谷	えん堤工	長良川圏域
2	通常砂防事業	山県市	木曾川	山県市流域	西江谷	えん堤工	長良川圏域
3	通常砂防事業	海津市	木曾川	海津市流域	志津北谷	えん堤工	揖斐川圏域
4	通常砂防事業	大垣市	木曾川	大垣市流域	桂谷	工事用道路	揖斐川圏域
5	通常砂防事業	大垣市	木曾川	大垣市流域	大持谷	えん堤工	揖斐川圏域
6	通常砂防事業	揖斐川町	木曾川	揖斐川町流域	大谷	えん堤工	揖斐川圏域
7	通常砂防事業	揖斐川町	木曾川	揖斐川町流域	坂本谷	用地補償	揖斐川圏域
8	通常砂防事業	揖斐川町	木曾川	揖斐川町流域	寺谷	えん堤工	揖斐川圏域
9	通常砂防事業	池田町	木曾川	池田町流域	大津谷	渓流保全工	揖斐川圏域
10	通常砂防事業	関市	木曾川	関市流域	大ツゲ谷	除石工	長良川圏域
11	通常砂防事業	美濃市	木曾川	美濃市流域	小倉谷	調査設計・用地補償	長良川流域
12	通常砂防事業	美濃市	木曾川	美濃市流域	庄司洞谷	えん堤工	長良川流域
13	通常砂防事業	郡上市	木曾川	郡上市流域	大洞川	えん堤工	長良川流域
14	通常砂防事業	郡上市	木曾川	郡上市流域	蓮原川	用地補償・除石工	長良川流域
15	通常砂防事業	郡上市	木曾川	郡上市流域	吉田川	魚道工	長良川流域
16	通常砂防事業	郡上市	木曾川	郡上市流域	神奈良川	えん堤工	長良川流域
17	通常砂防事業	白川町	木曾川	白川町流域	小井戸谷	渓流保全工	木曾川・飛騨川圏域
18	通常砂防事業	白川町	木曾川	白川町流域	中根谷	えん堤工	木曾川・飛騨川圏域
19	通常砂防事業	東白川村	木曾川	東白川村流域	森の平谷	調査設計・用地補償	木曾川・飛騨川圏域
20	通常砂防事業	中津川市	木曾川	中津川流域	木曾谷	山腹工	木曾川・飛騨川圏域
21	通常砂防事業	中津川市	木曾川	中津川流域	西の谷	えん堤工	木曾川・飛騨川圏域
22	通常砂防事業	中津川市	木曾川	中津川流域	尾城谷	調査設計・用地補償	木曾川・飛騨川圏域
23	通常砂防事業	下呂市	木曾川	下呂市流域	カウト洞谷	渓流保全工	木曾川・飛騨川圏域
24	通常砂防事業	下呂市	木曾川	下呂市流域	小川谷	山腹工	木曾川・飛騨川圏域
25	通常砂防事業	下呂市	木曾川	下呂市流域	前洞谷	えん堤工	木曾川・飛騨川圏域
26	通常砂防事業	下呂市	木曾川	下呂市流域	小樽平谷	渓流保全工	木曾川・飛騨川圏域
27	通常砂防事業	瑞浪市	庄内川	瑞浪市流域	蛇抜沢川	えん堤工	庄内川・矢作川圏域
28	通常砂防事業	瑞浪市	庄内川	瑞浪市流域	不動川	渓流保全工	庄内川・矢作川圏域
29	通常砂防事業	瑞浪市	庄内川	瑞浪市流域	検丈沢	用地補償	庄内川・矢作川圏域
30	通常砂防事業	恵那市	矢作川	恵那市流域	増沢川	えん堤工	庄内川・矢作川圏域
31	通常砂防事業	高山市	神通川	高山市流域	芦谷	えん堤工	宮川・庄川圏域
32	通常砂防事業	高山市	神通川	高山市流域	ソバ谷	えん堤工	宮川・庄川圏域
33	通常砂防事業	高山市	神通川	高山市流域	カジカ洞	渓流保全工	宮川・庄川圏域
34	通常砂防事業	高山市	神通川	高山市流域	宮ヶ洞	付替道路工	宮川・庄川圏域
35	通常砂防事業	飛騨市	神通川	飛騨市流域	殿川	えん堤工	宮川・庄川圏域
36	通常砂防事業	飛騨市	神通川	飛騨市流域	高野谷	えん堤工	宮川・庄川圏域
37	通常砂防事業	飛騨市	神通川	飛騨市流域	桑谷	えん堤工	宮川・庄川圏域
38	通常砂防事業	白川村	庄川	白川村流域	ゲンダ洞	渓流保全工	宮川・庄川圏域
39	火山砂防事業	郡上市	木曾川	郡上市流域	前ヶ洞谷	えん堤工	長良川圏域
40	火山砂防事業	高山市	木曾川	高山市	洞ノ谷	調査設計	木曾川・飛騨川圏域
41	火山噴火警戒避難対策事業	高山市	—	高山市流域	焼岳	調査設計	宮川・庄川圏域
42	火山噴火警戒避難対策事業	下呂市	—	下呂市流域	御嶽山	調査設計	木曾川・飛騨川圏域
43	特定緊急砂防事業	高山市	神通川	高山市流域	片ヶ洞	渓流保全工	宮川・庄川圏域
44	総合流域防災事業	関ヶ原町	木曾川	関ヶ原町流域	今須川	山腹工	揖斐川圏域
	総合流域防災事業(基礎調査)	—	—	—	—	土石流基礎調査	
	総合流域防災事業(情報基盤)	—	—	—	—	気象庁連携システム設計	
	総合流域防災事業(相互通報)	—	—	—	—	啓発看板設置	

# 4. 岐阜県 H18年度事業実施箇所一覧表④

## 地すべり対策事業(県)

No.	事業名	市町村名	水系名	箇所名	主な工種	圏域名
1	地すべり対策事業	瑞浪市	庄内川水系	南垣外	流路工・押え盛土工	庄内川・矢作川圏域
2	地すべり対策事業	中津川市	木曾川水系	尾外岩	集水井工・排水ボーリング工	木曾川・飛騨川圏域
3	地すべり対策事業	瑞浪市	庄内川水系	入ヶ洞	アンカー工	庄内川・矢作川圏域

## 急傾斜地崩壊対策事業(県)

No.	事業名	市町村名	統合斜面名	箇所名	主な工種	圏域名
1	急傾斜地崩壊対策事業	垂井町	大垣	宮ノ前 I	待受擁壁工	揖斐川圏域
2	急傾斜地崩壊対策事業	揖斐川町	揖斐	長良	調査設計・用地買収	揖斐川圏域
3	急傾斜地崩壊対策事業	関市	美濃	加部2	待受擁壁工	長良川圏域
4	急傾斜地崩壊対策事業	美濃市	美濃	前野2	待受擁壁工	長良川圏域
5	急傾斜地崩壊対策事業	郡上市	郡上	高原	待受擁壁工	長良川圏域
6	急傾斜地崩壊対策事業	郡上市	郡上	夕谷2	待受擁壁工・法枠工	長良川圏域
7	急傾斜地崩壊対策事業	白川町	可茂	東和泉	待受擁壁工・落石防護工	木曾川・飛騨川圏域
8	急傾斜地崩壊対策事業	恵那市	恵那	城山2	待受擁壁工	庄内川・矢作川圏域
9	急傾斜地崩壊対策事業	下呂市	下呂	舟野	待受擁壁工	木曾川・飛騨川圏域
10	急傾斜地崩壊対策事業	下呂市	下呂	川戸平	待受擁壁工・落石防護工	木曾川・飛騨川圏域
11	急傾斜地崩壊対策事業	高山市	高山	中島	待受擁壁工・法枠工	宮川・庄川圏域
12	急傾斜地崩壊対策事業	高山市	高山	三福寺	法枠工	宮川・庄川圏域
13	急傾斜地崩壊対策事業	高山市	古川	堂ヶ洞	待受擁壁工	宮川・庄川圏域
14	急傾斜地崩壊対策事業	高山市	高山	守屋ヶ洞	待受擁壁工	宮川・庄川圏域
15	急傾斜地崩壊対策事業	岐阜市	岐阜	村山	待受擁壁工	長良川圏域
16	急傾斜地崩壊対策事業	本巣市	岐阜	中村	待受擁壁工	揖斐川圏域
17	急傾斜地崩壊対策事業	山県市	岐阜	佐野	待受擁壁工	長良川圏域
18	急傾斜地崩壊対策事業	郡上市	郡上	苅安2	調査設計・用地買収	長良川圏域
19	急傾斜地崩壊対策事業	瑞浪市	多治見	市原台団地	待受擁壁工・法枠工	庄内川・矢作川圏域
20	急傾斜地崩壊対策事業	揖斐川町	揖斐	市場	待受擁壁工	揖斐川圏域
21	急傾斜地崩壊対策事業	八百津町	可茂	亀洞	待受擁壁工	木曾川・飛騨川圏域
22	総合流域防災事業(急傾斜)	中津川市	恵那	時鐘2	待受擁壁工	木曾川・飛騨川圏域
23	総合流域防災事業(急傾斜)	可児市	可茂	田畑	待受擁壁工	木曾川・飛騨川圏域
24	総合流域防災事業(急傾斜)	御嵩町	可茂	長岡	調査設計	木曾川・飛騨川圏域
25	総合流域防災事業(急傾斜)	大垣市	大垣	街道2	法枠工	揖斐川圏域
26	総合流域防災事業(急傾斜)	多治見市	多治見	市之倉11・12丁目	待受擁壁工	庄内川・矢作川圏域
27	総合流域防災事業(雪崩)	揖斐川町	揖斐	香六	雪崩予防柵	揖斐川圏域
28	総合流域防災事業(雪崩)	飛騨市	古川	保木林	グライド擁壁	宮川・庄川圏域
	総合流域防災対策事業(基礎調査)	—	—	—	がけ基礎調査	

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## (1) 岐阜県の自然、社会特性と災害状況

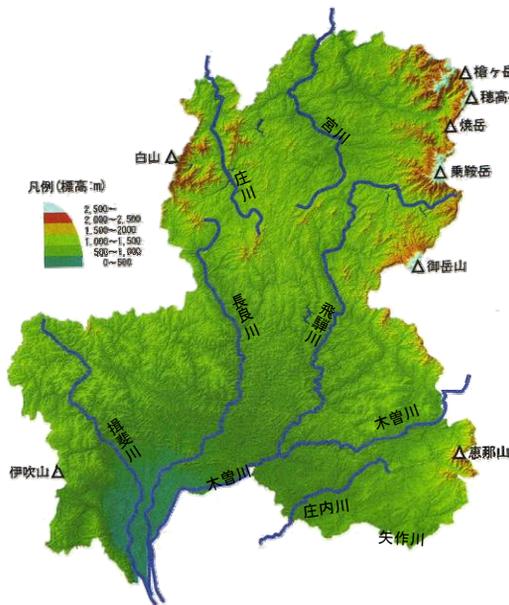
岐阜県の地形は、その東西の県境は高く急峻な山地で、この中間に一段低い山地が南北に連なり、北から南に高度を低くしています。さらに南部では、東から西に高地、丘陵地、低平地と次第に低くなっています。濃尾平野の木曾川右岸にあたる県南西部は、扇状地、自然堤防、三角州といった地形をもつ典型的な沖積平野です。

気候的には、大きく美濃と飛騨に分けられ、美濃地方は年平均気温が約15度と温暖であるのに対し、飛騨地方は年平均気温で5度程度低く、冬期の降雪量も多くなっています。

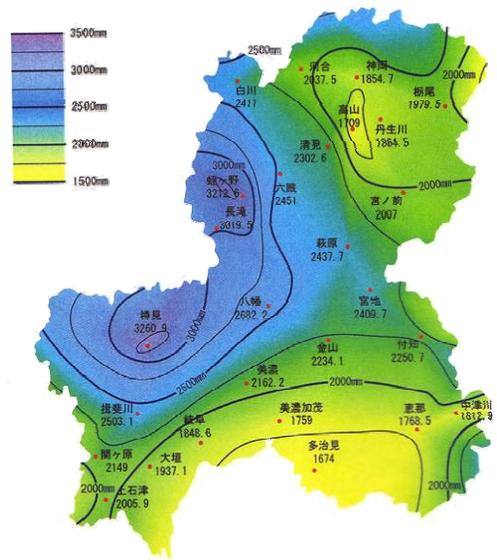
年平均降水量をみると県中央部から福井県境付近が多雨地帯であり、全体的にも全国平均より多く、県内河川の豊富な流量のもとになっています。

また社会条件として、人口、資産等は、可住地面積が広い県南部に広く分布しており、山地の多い飛騨地域では、高山市中心部等の盆地部に集積しています。

こうした本県の自然、社会条件により水害は揖斐、長良川流域等の県の南部に多く、北部等の山間地に土砂災害が多くなっています。特に、近年は降水量の変動性が増加(極端に多い降水量と少ない降水量が出やすい)しており、平成14年の台風6号、平成16年の台風23号など、甚大な被害が多く発生しています。



岐阜県地形図



岐阜県等降水量線図

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## (2) 水害・土砂災害対策の現状の課題と方針

岐阜県内の水害対策として、国の管理区間では、将来の整備目標として河川毎に差異はあるものの、概ね100年に1回程度発生する洪水を安全に流すことを目標として、その達成に向けて河川整備を進めています。県の管理区間では、暫定の整備目標として流域面積が小さい河川では5年に1回程度、流域面積が大きい河川では20年から30年に1回程度発生する洪水を安全に流せるように河川整備を進めています。

※

国管理河川では、小里川ダムや復緊急事業の完成した庄内川(土岐川)の安全度は大きく向上しましたが、木曾三川では今後とも未整備区間の安全度向上の為、重点的整備(河川堤防の築堤・増強・新丸山ダム建設)を着実に進める必要があります、特に、現況治水安全度の低い揖斐川では、横山ダム再開発、徳山ダムの建設と併せた緊急的な整備を進める必要があります。

県管理河川では、平成16年の台風23号などで近年甚大な被害を受けている、宮川や長良川流域の河川への緊急対応に集中投資するとともに、同地域のダム建設を進めています。

しかしながら、近年県内各所で水害が発生しているにも関わらず、厳しい財政状況のため、河川施設への投資は満足すべき水準に達していません。整備が必要な河川であっても、整備途上で休工している河川も多くあるのが現状です。そこで、ハード施設の整備には多大な費用と時間を必要とするため、ソフト対策として、水害時の警戒避難体制の整備及び強化に向け、洪水ハザードマップの作成支援やCCTVカメラの増設等による、住民へ提供する洪水情報の内容充実を図っています。

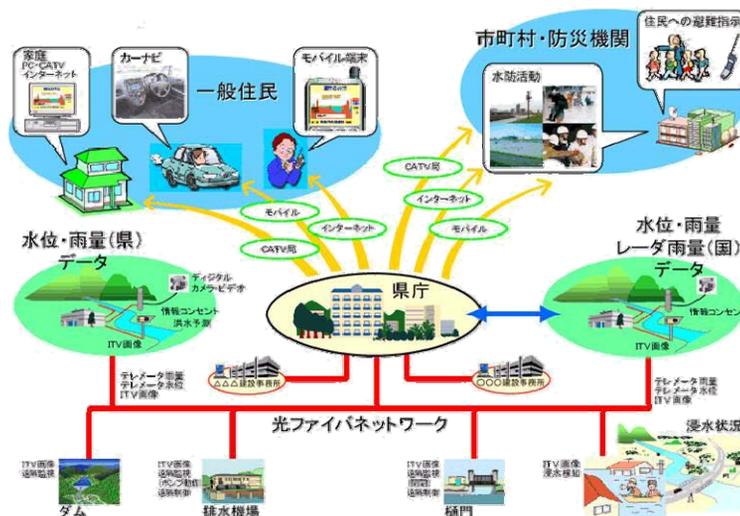
一方、土砂災害対策としては、大規模荒廃地からの土砂流出による洪水被害を防止・軽減するための直轄砂防事業を進めるほか、火山活動が活発化している焼岳において、直轄火山砂防事業を推進しています。

また、東横山地すべり災害を受け、監視・観測態勢をとると共に岐阜県内の一斉点検を行いました。県内には13,080箇所にも及ぶ土砂災害危険箇所があり、毎年のように発生する土砂災害から県民の生命を守るため、「土石流対策」「がけ崩れ対策」「地すべり対策」などの土砂災害対策を進める必要があります。

平成17年度末現在の着手率が箇所数で2割程度である現状から、避難所関連対策や災害時要援護者対策などのハード対策の重点的な事業の推進が求められるほか、避難勧告等に必要な情報提供を行うため気象庁と連携した土砂災害警戒情報システムの構築や、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策も重点的に進めます。

※復緊急事業(河川災害復旧等関連緊急事業)

上流部での災害復旧工事等を行った事による流量増に対応する改修等を行う事業



岐阜県河川情報配信システムのイメージ

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

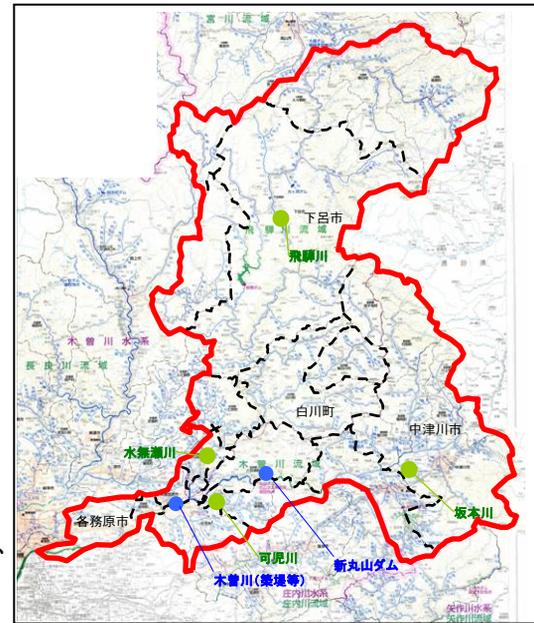
## (3) ハード対策の当面の進め方

### 1) 木曾川・飛騨川圏域

#### 1) - 1. 河川水害対策

木曾川流域においては、国事業として本川で既往最大の洪水(S58.9)を安全に流下させるため、無堤部を解消するための築堤等を行うとともに防災ステーション(羽島市)の整備を行います。また、洪水調節施設として新丸山ダムの建設を推進します。他に県事業として可児川、坂本川で狭窄部の改修を行います。

飛騨川流域においては、県事業として飛騨川本川で下呂市のまちづくりとあわせた整備を実施するほか、水無瀬川において多目的ダムの早期着工に向けて諸調査を実施します。



### 木曾川流域

(1級河川の主な事業を記載)

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
国	木曾川	坂祝町	築堤等
	木曾川	羽島市	防災ステーション整備
	木曾川	御嵩町・八百津町	新丸山ダム建設
県	可児川	可児市	堰改築、防災ステーション整備
	坂本川	中津川市	JR橋(周辺含み)整備

### 飛騨川流域

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
県	飛騨川	下呂市	掘削、護岸工
	水無瀬生活貯水池	川辺町	貯水池調査

#### 1) - 2. 土砂災害対策

木曾川流域では、国事業として平成12年の豪雨により崩壊地が拡大し、上流域に多くの不安定土砂を抱える中津川や落合川において、中津川市街地など沿川の河床上昇による氾濫被害や、各支川流域における土石流災害を防止するため、土砂流出抑制対策を推進します。

一方、県事業では昭和58年の中津川市阿木地区、平成元年の恵那市岩村地区、飛騨川流域における平成10年の白川災害など、土砂災害が繰り返し発生することから、再度災害防止のための「災害フォロー」をはじめ、「避難地関連対策」や「災害時要援護者対策」などのハード対策を、効率的且つ重点的に推進します。

また、総合流域防災事業では、避難所関連対策として中津川市坂下町の「時鐘2地区」で行うほか、災害時要援護者対策として御嵩町の「長岡地区」、災害フォロー対策として可児市の「田畑地区」において急傾斜地崩壊防止工事を実施します。

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 2) 長良川圏域

### 2) - 1. 河川水害対策

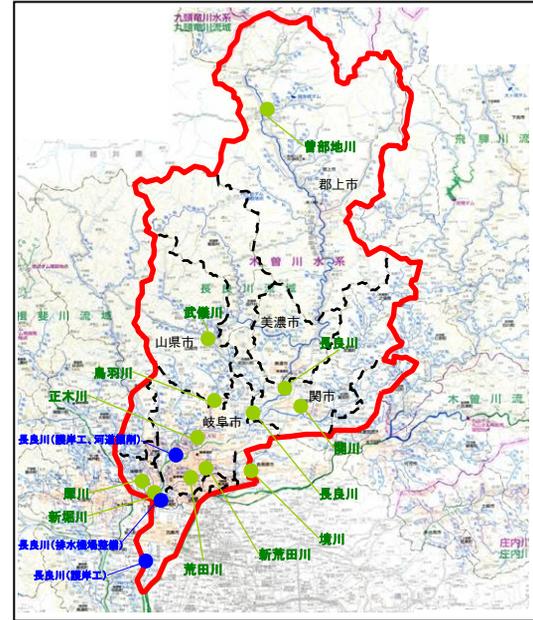
長良川流域においては、既往最大の平成16年10月洪水を安全に流下させるため、国事業として緊急的な河道掘削を実施し、県事業として床上浸水被害の軽減に向けた事業を連携して進めます。

県事業としては、上流域でも新たな河川改修に着手します。

また内水被害の軽減のため直轄事業としては犀川流域において、犀川遊水地事業及び老朽化した排水機場の統合事業を推進すると共に、あわせて県事業により排水機場までの新堀川放水路の整備を行います。

その他県事業として浸水常襲地帯の解消に向けた曾部地川の整備を完成する他、境川、鳥羽川等の都市部の河川整備を進めます。また、市事業として正木川等でまちづくりとあわせた河川整備を進めます。

また、亀尾島川及び長良川の治水対策として、内ヶ谷ダムの建設を推進します。



(1級河川の主な事業を記載)

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
国	長良川	岐阜市	河道掘削
	犀川	瑞穂市	排水機場整備
県	長良川	岐阜・関・美濃市	河道掘削、護岸工等
	長良川	美濃・郡上市	河道掘削等
	新堀川	瑞穂市	放水路整備
	犀川	瑞穂市	橋梁改築
	武儀川	山県市	掘削護岸工等
	曾部地川	郡上市	掘削護岸工等
	鳥羽川	山県市	掘削護岸工等
	境川	岐阜・各務原市	排水機場、掘削護岸工、橋梁工
	荒田川	岐阜市	掘削護岸工
	内ヶ谷ダム	郡上市	付替道路工
市	新荒田川	岐阜市	掘削護岸工
	関川	関市	掘削護岸工
	正木川	岐阜市	掘削護岸工

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 2)－2. 土砂災害対策

長良川流域では、平成11年及び平成16年の災害時に流木による被害が発生したことや、平成18年には豪雪による雪倒木が数多く発生したことから、透過型砂防堰堤の整備など流木対策を進めます。また、土砂災害対策としては、土砂災害が繰り返し発生することから、再度災害防止のための「災害フォロー」をはじめ、「避難地関連対策」や「災害時要援護者対策」などのハード対策を、効率的且つ重点的に推進します。



# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 3)－2. 土砂災害対策

揖斐川流域では、国事業として横山ダム上流域の荒廃地域からの土砂流入を抑制します。

また、土砂堆積による河床の上昇に起因する揖斐川及び根尾川沿川市街地の氾濫被害や、各支川流域における土石流災害を防止する土砂流出抑制対策を推進しています。

さらに、ハード対策と一体的なソフト対策の充実を目指して、CCTVの設置や防災訓練の実施など市町村防災部局の警戒避難体制の支援に努めることとしています。

特に、平成18年5月に発生した東横山地すべり地(揖斐川町)では、国、県、揖斐川町をはじめ関係機関の連携により初動体制が確保されました。

一方、県事業では平成元年や平成16年に発生した土砂災害箇所における「災害フォロー」や「避難地関連対策」及び「災害時要援護者対策」などのハード対策を効率的且つ重点的に推進します。

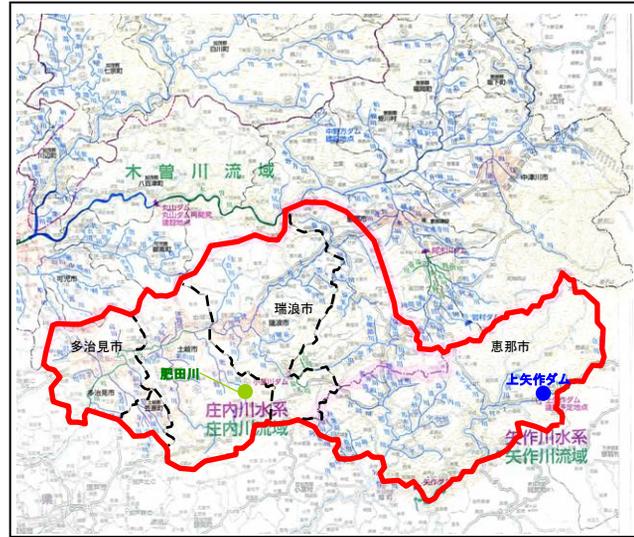
総合流域防災事業では、災害フォロー対策として関ヶ原町の「今須川」で山腹工を行うほか、避難所関連対策として揖斐川町の「香六地区」で雪崩対策、大垣市の「街道2地区」で急傾斜地崩壊防止工事を実施します。

# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 4) 庄内川・矢作川圏域

### 4) - 1. 河川水害対策

庄内川については、平成11年6月梅雨前線豪雨により、瑞浪市和合や土岐市内の浸水をはじめ、土岐川沿川に大きな被害をもたらしました。この災害を契機として、岐阜県が災害復旧事業を実施するとともに、岐阜県・国土交通省において災害復旧事業等による下流部の流量増加対応として、平成11年度に創設された「河川災害復旧等関連緊急事業(復緊急事業)」により、観測史上最大となった平成元年9月洪水を対象に、瑞浪市和合地区、土岐地区、多治見地区の河川整備に着手し、平成15年度に完成させました。さらに、小里川ダムが平成15年度に完成したため、治水安全度が大幅に向上しました。しかし、復緊急事業では当時、内水被害を早期に軽減させる必要があったことから、主に河道掘削による水位低下対策を行っています。この為、多治見市や土岐市等の市街地においても計画高水位以下の堤防が残されていません。当面の事業の進め方としては、計画高水位以下の堤防のうち、市街地等の優先度の高い区間から築堤等の整備を行い、洪水被害の軽減を目指します。また、支川肥田川では、平成11年に床上浸水の発生した狭窄部対策を進めます。



矢作川については、洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電等を目的とした上矢作ダムの建設に向けて、実施計画調査を推進します。

#### 庄内川流域

(1級河川の主な事業を記載)

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
県	肥田川	土岐市	用地補償 掘削護岸工等

#### 矢作川流域

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
国	矢作川	恵那市	実施計画調査

### 4) - 2. 土砂災害対策

庄内川流域では、国事業として庄内川沿江市街地における河床上昇による氾濫被害や、各支川流域における土石流災害を防止する為、土砂流出抑制対策を推進します。

また、「土岐川グリーンベルト事業」による地域住民との連携など、ソフト対策の充実を図り、土砂災害の防止に努めます。

一方、県事業では平成12年に矢作川流域で発生した「恵南豪雨災害」など、災害の教訓から流木対策のための透過型堰堤の整備など、「災害フォロー」や「避難地関連対策」及び「災害時要援護者対策」などのハード対策を効率的且つ重点的に推進します。総合流域防災事業では、多治見市の「市之倉11丁目12丁目地区」で急傾斜地崩壊防止工事を実施します。

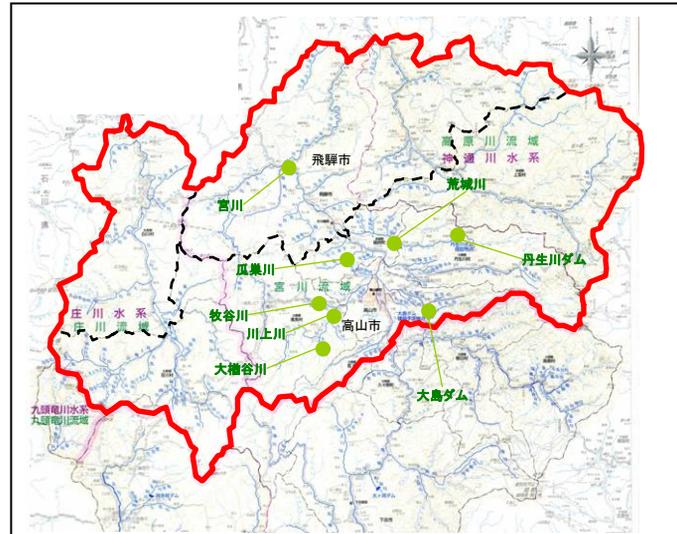
# 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

## 5) 宮川・庄川圏域

### 5) - 1. 河川水害対策

宮川流域では、宮川、川上川、牧谷川、瓜巣川、大櫛谷川で平成16年の災害対応として実施中の災害復旧助成事業を平成20年度までに完成するほか、苔川で河川改修を進めます。また荒城川で丹生川ダムの建設を進め、大八賀川では、大島ダムの建設にむけた調査を進めます。

庄川流域では、河川の適切な維持管理を実施します。



(1級河川の主な事業を記載)

事業主体	河川名	市町村名	事業内容
県	苔川	高山市	護岸工
	荒城川	飛騨市	護岸工
	宮川(助成)	飛騨市・高山市	掘削護岸工
	瓜巣川(助成)	高山市	掘削護岸工
	川上川(助成)	高山市	掘削護岸工
	牧谷川(助成)	高山市	掘削護岸工
	大櫛谷川(助成)	高山市	掘削護岸工
	丹生川ダム	高山市	ダム本体工
大島ダム	高山市	調査(環境調査等)	

### 5) - 2. 土砂災害対策

高原川の上流域では重荒廃地域を抱えるほか、焼岳の火山噴出物の堆積など土砂災害の発生しやすい状況となっています。また、奥飛騨温泉郷として全国でも有数の観光地となっています。このため、土砂流出による土砂災害や河床上昇に起因した土砂氾濫から高原郷とその観光資源の保全及び富山平野を保全するため、国事業を推進しています。

また、県事業では平成11年の「9.15災害」や平成16年の「台風23号による災害」の経験から、透過型砂防堰堤の整備など流木災害対策を進めるほか、ソフト対策の充実による減災対策とハード対策の一体的な整備を掲げ、「避難所関連対策」や「災害時要援護者対策」などの重点的な整備を推進します。

総合流域防災事業では、飛騨市の「保木林地区」で雪崩対策事業を実施します。

## 5. 水害・土砂災害等の現状の課題と当面の進め方

### (4) ソフト対策の当面の進め方

水害対策については、水害時の警戒避難体制の整備、強化に向け、市町村が実施する洪水ハザードマップの作成を支援します。

県内の河川の洪水予報については、それぞれの河川の管理者と地方気象台が共同で発表していますが、木曾川水系については、本年6月1日より、従来上下流を通して、中部地方整備局と名古屋地方気象台が共同で発表していた予報文を、中流域と下流域の出水特性が異なることを踏まえ、中流域の洪水予報に関しては、木曾川上流河川事務所と岐阜地方気象台が共同で、下流域での洪水予報に関しては、木曾川下流河川事務所と名古屋地方気象台が共同で発表し、地域特性に適合した、より迅速な洪水予報を行うことになりました。

また、中小河川でも、洪水により大きな被害が生じる恐れのある河川もありますが、その洪水予報の実施には技術的な困難が伴います。このため県内では12の水位情報周知河川を指定し、特別警戒水位を設けることにより、水位情報の公表時に住民の警戒避難の目安となるような情報提供を実施しています。今後、都市部等を中心に新たな水位情報周知河川の指定を検討していきます。

また、CCTVカメラの増設等、インターネット等を通じた住民への洪水情報の提供内容の充実を図ります。

土砂災害対策については、市町村による避難勧告等に対し必要な情報が提供できるように、気象庁と連携した土砂災害警戒情報システムの構築を実施します。また、土砂災害の恐れのある区域を明らかにし、市町村による避難勧告等と一体的に的確な避難体制の整備を図るため、土砂災害警戒区域の指定推進や、土砂災害ハザードマップの公表配布、前述の気象庁連携による土砂災害警戒情報についても、その精度向上などを実施します。